



SANJO ROTARY CLUB

三条ロータリークラブ

週報 No. 41

2019.5.22(No.3005)

自らのロータリーストーリー
を作りましょう

第2560地区ガバナー／川瀬康裕
会 長／松永一義
会長エレクト／若槻八十彦(クラブ奉仕A)
会長ノミニー／野崎喜一郎(クラブ奉仕B)
幹 事 西山徳芳
S A A／渡辺良一
会 計／吉井直樹
直前会長／小出子恵出

例会日／毎週水曜日 12:30～
例会場及び事務局／
三条市旭町2-5-10 三条信用金庫本店内
例会場／TEL 34-3311
事務局／TEL 35-3477 FAX 32-7095

E-mail: sanjo-rc@cpost.plala.or.jp
http://www.soho-net.ne.jp/~rotary/
(～はshiftを押しながら“へ”のキーを
押してください)

- 本日の出席会員数:58名中43名
- 先々週出席率:68.42%

【ヴィジター】

- ・三条南RC 野崎正明さん
- ・米山奨学生 ゴーグエンチー チュン君

【先週のメークアップ】

- [5.9] ガバナー支援特別委員会(新潟)へ
・関川 博さん
- [5.9] 三条ローターアクトへ
・若槻八十彦さん
- [5.11] 地区研修・協議会(上越)へ
・若槻八十彦さん、野崎喜一郎さん、
・渡辺良一さん、五十嵐博宣さん、
・船越良則さん、吉井直樹さん、
・相場弘介さん、関川 博さん、
・金子俊郎さん、中條克俊さん
(10名)
- [5.18] 十日町北RC創立50周年記念式典へ
・松永一義さん、西山徳芳さん
- [5.18] 地区奨学生候補
オリエンテーション(新潟)へ
・若槻八十彦さん、高橋 司さん、
・吉井直樹さん



インスピレーションになるう

2018～2019年度国際ロータリーのテーマ



会長挨拶

松永一義 会長



こんにちは、先週15日は三条まつりで
した。暑い一日でした。吉井祭典委員
長、お疲れ様でした。旧市内の学校が休
みで、祭りには親子の姿が多く、例年よ
り人の多さを感じました。舞い込みには、
どこにこんなに子どもがいるのか、
と思うほどの多さでした。

若衆会の白鳥さんは、人数は少なかったのですが、元気よ
く、これも例年になく荒々しく盛り上がっていました。

広域養護老人ホーム県央寮に、1971年建立のロータリーク
ラブ寄贈石碑があるのだそうです。字も薄れ、見ても良く分
からないと、山田さんに相談があったそうです。50年も前の
物です。会できれいにしたいと思います。槻の森の石碑、須
頃の説量先生の額、他にも何かあるかも知れません。ちゃん
と管理して行きたいと感じています。

最近、店のお客様で話題にする言葉があります。皆さん女
性です。「夫元病」夫が元で病になる、若い時は余りないそ
うです。結婚して30年、40年経つと、毎日の生活で空気よう
になってしまう夫婦。メシ、フロ、旨いも、ありがとう
も、誕生日も記念日も忘れ、当たり前ようになってしま
い、ストレスが溜まる、原因不明の頭痛や体調不良。

ロータリーのお陰で、今は記念日にはプレゼントが届くの
で、何とかセーフと思っています。

常に女性には気を使わなければと、自戒しております。

幹事報告

西山徳芳 幹事

◎地区事務所より

「大島精次パストガバナー お別れの会のご案内」

日 時 5月28日(火) 10:30~12:00

会 場 デュオ・セレッソ(上越市)

※当日は無宗教による献花にて執り行われます。

◎三条ローターアクトクラブより

「6月第一例会のご案内」

日 時 6月13日(木) 19:30~21:00

会 場 リサーチコア 4階・異業種交流室

卓 話 三条RC会員

◎三条ローターアクトクラブより

「会員増強イベント カクテル講習会のご案内」

日 時 6月19日(水) 19:30~

会 場 オールドBAR モンツァ

◎地区事務所より

「インターアクト年次大会のご案内」

開催日 7月13日(土)~14日(日)

会 場 割烹の宿 湖畔

◎大谷ガバナーエレクト事務所より

「地区研修・協議会の御礼」

◎阿賀野川ラインRCより

「創立20周年記念式典ご臨席の御礼」

◎次週 29日(水)は早朝例会です。ご欠席の方は事務局で記帳またはメイクアップをお願い致します。

また、6月5日(水)は休会となります。お間違えないようお願い致します。

◎6月12日(水)より「クールビズ」を実施いたします。皆様のご協力をお願い致します。

ニコニコBOX

三条南RC 野崎正明様

いつもお世話になります。本日は、メーカーキャップさせていただきます。

松永一義会長

三条祭り、暑い中お疲れ様でした。吉井祭典委員長お疲れ様でした。

若槻さん、地区協の報告、宜しく申し上げます。

中村信一さん

協議会報告ご苦勞様です。

米山奨学生 ゴーグエンチー チュン君、学業頑張ってください。カウンセラーとして勉強します。

関川 博さん

三条まつり 吉川会員お疲れ様でした。

地区協 若槻会長エレクトお疲れ様でした。発表よろしく申し上げます。

18日の関西営業所拡大オープンにからめて京都に社員旅行に行きました。初川床良^{カワドコ}かったです。番場さんに感謝。

西山徳芳さん

来週は早朝例会です。がんばって早起しましょう。

渡辺良一さん

地区研の報告の時期になりました。いよいよ若槻年度のはじまりです。

若槻八十彦さん

本日は地区研修・協議会の報告をさせていただきます。

明日、明後日の家庭会合よろしくお願ひいたします。

小越憲泰さん

ドイツ・ハンブルグ国際大会がいよいよ近づいて来ました。

荻根澤隆雄さん

若槻会長エレクトご苦勞様です。

三条南RC野崎会長のご来会、ありがとうございます。

衛藤泰男さん

久しぶりに大分に帰りましたので宇佐神宮へ参拝して来ました。二礼四拍一礼のしきたりでした。帰りに商売繁盛の御札を頂いて来ましたので、効き目が今後3年間ほど続いてほしいものです。

中條克俊さん

先日の地区協ご参加の皆様、大変お疲れ様でした。

チュンさんようこそ三条ロータークラブへ!!

一年間よろしく申し上げます。

明田川賢一さん

地区協 参加された皆様、お疲れ様でした。

石橋育於さん

本日もよろしく申し上げます。

小林卓哉さん

今日もよろしくお願ひ致します。

高橋 司さん

よいことがありました。スマイルボックスに協力いたします。

金子俊郎さん、五十嵐晋三さん、山田富義さん、

渋谷健一さん、木村文夫さん、野水靖之さん、

石黒良行さん、樺山 仁さん、杉山幸英さん、

歸山 肇さん、小出子恵出さん、船越良則さん、

米山智哉さん

地区研修・協議会報告ご苦勞様です。お話楽しみにしております。

5月22日分 ￥ 31,000

今年度累計 ￥ 1,698,000

「地区研修・協議会報告」

若槻八十彦 会長エレクト



5月11日土曜日に開催されました2019-20年度「地区研修・協議会」の報告を申し上げます。

会場は、JR高田駅の近くにある「デュオ・セレッソ」で行われました。

第1セッションには、私と次年度幹事代理出席の中條さん、クラブ奉仕委員長の野崎さんの3名。第2セッションには職業奉仕委員長の渡辺良一さん、社会奉仕委員長の五十嵐博宣さんが出席しました。第3セッションには青少年奉仕委員長の船越さん、第4セッションにはロータリー財団委員会の吉井さん、第5セッションには米山記念奨学委員長の相場さんがそれぞれ出席いたしました。他に、関川地区幹事と金子地区財務が参加して、三条クラブからは全部で10名の参加でした。この後で、本日出席のみなさんからセッション毎に報告を行っていただきますのでよろしくお願いいたします。尚、本日欠席の方々からは週報での報告とさせていただきます。

10時から午前の部の全体会議が行われ、新保副ガバナー／地区研修リーダーの挨拶と本日の目的についてのお話、地区役員紹介の後、大谷ガバナーエレクトからの国際協議会の報告と次年度地区運営方針のお話があり、水上地区財務委員から次年度予算案の説明と続きました。大谷ガバナーエレクトの次年度地区運営方針につきましては、「PETS」の報告の通りですので割愛させていただきます。

基調講演は、第2ゾーン公共イメージ・コーディネーター、第2610地区野々市RCの柳生好春さんが「いま、なぜ公共イメージと認知度の向上か」という演題で講演をされました。資料がないので、カメラで撮っておいた画像を見ると、ロータリーの認知度が高いのは国別に、インドが96%、ナイジェリアと台湾の95%で、ほぼ全国民に認知されているようです。その次に高いのは、ブラジル、オーストラリアの87%、アルゼンチンの86%、南アフリカの78%、主要7カ国の中でロータリーの認知度が一番高い国は、イタリアの74%で、次にカナダ71%、アメリカ64%、フランス63%、そして日本の58%、ドイツ50%、イギリスは表になかったので50%以下と思われます。

「ロータリーの友」を見ると、2月の公式発表で世界のロータリークラブの数は35,787、会員総数が1,214,363人となっています。しかしながら大分以前から言われているように、クラブ数は増えても肝心



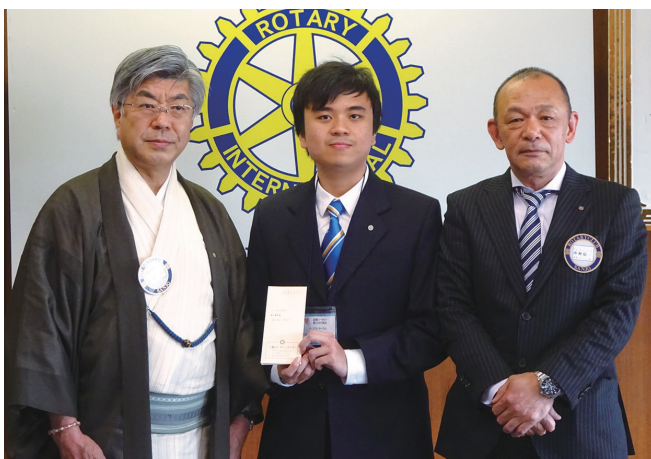
米山奨学生 ゴー グエン チューン君
(奨学期間:2019年4月~2020年3月)

長岡技術科学大学 修士課程
技術科学イノベーション専攻

ベトナム出身、1995年生まれの23歳。



カウンセラー 中村信一さん



の会員数が減る傾向にあります。ですから、ロータリーの公共イメージと認知度の向上が欠かせないということかと思えます。

今、国際ロータリーでは「世界を変える行動人」というキャンペーンを行っています。

これは、私たちロータリアンが何者かということをお伝えしようというキャンペーンであります。私たちロータリアンの、ロータリークラブの特色を明らかにして、提供できる価値は何かをお伝えして、つまりストーリーをお伝えして、一緒に行動しましょうと呼びかけること。これによって新しい仲間を増やしていこうというのがこのキャンペーンの狙いであろうかと思えます。その目的のために、「マイ・ロータリー」の中にある豊富な情報リソースを活かして、奉仕活動の充実を図ること、奉仕活動の価値を高めること。これが重要なことと思えます。

残念ながら、この第2560地区のマイ・ロータリー登録率は20%ちょっとで、国内34地区の中で、下から6番目に位置しているようです。当三条クラブでも、是非マイ・ロータリーの登録率を上げたいということをお次年度の目標に加えたいと思えます。

午後のセッションに移ります。第1セッションでは会長・幹事向けに、大谷ガバナーエレクトからお話がありました。その中で、「各クラブにお願い」ということで、

1. 2019-20年度から地区にはクラブ奉仕委員会がなくなりましたが、各クラブにおかれましては継続していただき、5つの奉仕部門のひとつとして活動いただきたいと思えます。
2. クラブの活性化
若い会員や入会間もない会員から理事や委員長への積極的登用をお願いします。同じように地区委員会にもどんどん推薦いただくようお願いいたします。これらの会員を起用することで、その会員はロータリーを知り、仲間が来て楽しく活動できます。一方でロータリー歴の長い会員の起用も絶対に忘れないでいただきたい。楽しいロータリーライフは退会防止、会員増強、クラブ基盤強化につながります。
3. ガバナー補佐の任務
当地区のガバナー補佐の主な任務は、分区内のクラブに4~5回訪問(内1回は公式訪問時)とIMを主催されることが主な任務でした。

2019-20年度は

- ① 訪問回数に制限は設けません。必要に応じて何回も訪問いたします。(訪問日はクラブと調整いたします)
- ② ガバナー公式訪問時、クラブ協議会はガバナー補佐が行います。事前か後日かはクラブとガバ

ナー補佐で調整してください。ガバナーは参加しません。

- ③ 分区内のクラブのニーズと意思疎通のため、2019-20年度ガバナー補佐を軸にガバナー補佐エレクト・ノミニーといっしょに活動する予定でありますので、ご承知おきください。
- ④ 公式訪問時、懇談会には新会員(3年未満)、青少年奉仕委員会の同席をお願いいたします。

次に「ガバナー補佐にお願い」として、

1. 地区の委員会開催時には出来るだけ出席してください。地区委員会の動きを知ることは、分区内クラブから地区委員会に推薦できるロータリアンの目安につながります。(地区委員会からは、補佐に案内をお願いします)
2. 分区内のクラブがまとまって、なごやかになるような雰囲気づくりを、ガバナー補佐とガバナー補佐エレクト・ノミニーと一緒にお願いします。
3. 分区で会員維持・増強及び新会員セミナーの開催を検討してみてください。
4. 分区または複数のクラブ共同で、公共イメージ向上のための広報の可能性を検討してみてください。

以上が、大谷ガバナーエレクトからのお願いのお話でした。

この後は、セッションごとに参加いただいた方々から報告をしていただきます。

2019-20年度 職業奉仕委員長 渡辺良一 会員



委員長 大嶋浩文(越後春日山RC)
職業奉仕委員会は、「四つのテスト」の理解を深めるための活動と親睦活動の話。

昨今発生している事件がモラルの破壊している。官民を上げて「四つのテスト」を今一度問い直すことが必要な時代。

「職業奉仕」の理想について

He profits most who serves best

「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」

アーサー・フレデリック・シェルドン 提唱

(ポールハリスとロータリーを創設したメンバーの一人)

*アーサーは、倒産寸前の会社をこの考え方で救った。

職業奉仕の実践が、高い職業理念につながる。それをロータリーの職業奉仕理念として提唱した。

【奉仕(serves)という和訳が、この理念を難解だと思わせている・・・】

そこで、この高潔性と高い倫理感を実践するために生みだされたのが、「四つのテスト」と「ロータリアンの行動規範」職場や生活のあらゆる場面で倫理的行動を実践するための指針。

天職を通じて serves (職場奉仕)、相手のことを考え、皆の為になるように、そういう職業活動をする。それがビジネスの繁栄につながるという考え。

職業奉仕：Vocational Service の理解を更に深め、実践していけば、より良い社会となり素晴らしい世の中につながっていく。

「職業奉仕」啓発ツールを作成し、地区大会時に配布する予定。

2019-20年度 青少年奉仕委員長 船越良則 会員



＜第3セッション 青少年奉仕、
青少年交換について＞

最初にアドバイザーの鈴木バ
ストガバナーよりご挨拶をいた
だきました。

ローターアクトクラブの方た
ちは将来ロータリアンになっ
ていただきたい人材であるので、

ローターアクトからいかに各クラブへ会員として入会していただくかを考えることが大切であるという事を言われていました。また、各クラブがローターアクトクラブ、インターアクトクラブに関心が少ないことを嘆いておられました。

続きまして、石倉悟地区青少年奉仕委員長よりご挨拶と佐渡、分水、高田、3クラブの青少年奉仕活動事例の発表をしていただきました。

その後インターアクト委員長からインターアクトクラブとは何か、来年度の活動について。

ローターアクト委員長からは次年度のローターアクトの活動について、ライラ委員長の報告と各委員長の説明を聞かせていただきました。ライラ研修は10月18日から20日まで3日間行われます。是非委員だけでなく多くの参加をお願いしたいということでした。

＜参加しての感想＞

私自身青少年奉仕、ローターアクトクラブ活動など今まで委員でなかったこともあり、本当に勉強不足だという事を実感いたしました。そのため青少年奉仕について本当に勉強になる事ばかりでした。

地区としては青少年奉仕、ローターアクトクラブの活動を積極的に行いその活動が将来ロータリアンになるきっかけになり会員増強につなげたいと考えているようです。

当クラブといたしましたもアクトクラブがありま

すので、この活動を30歳までの活動とくぎらず、アクトを経験した方が当クラブに入会していただくような活動を考えていかなければいけないのかと思います。

2019-20年度 米山記念奨学委員長 相場弘介 会員



米山記念奨学会は日本のロータリーの創始者、米山梅吉氏の偉業を記念し、1952年、東京ロータリークラブから発表された「米山基金」構想に端を発し、1967年に文部省(当時)を主務官庁とする(財)ロータリー米山記念奨学会として設立されました。そこには

二度と戦争の悲劇を繰り返さないために国際親善と世界平和に寄与したい、平和日本を世界に理解させるべく、一人でも多くの留学生を迎え入れて平和日本を肌で感じてもらいたい、それこそが日本のロータリーに最もふさわしい国際奉仕事業ではないだろうか…という想いが込められています。

当委員会では、この米山記念奨学会の想い・目的に資するべく、国際奉仕活動や奨学生の育成などについて周知活動を推進し、地区の寄付目標達成や奨学生及びカウンセラーの支援に向け会員皆様からご協力を賜りたいと存じます。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

2019-20年度 クラブ奉仕(A)委員長 野崎喜一郎 会員

5月11日(土)高田RCをホストクラブに第7分区の8クラブにより上越市のデュオ・セレッソを会場に開催されました。

私は会長ノミニーとして第1セッションに参加しました。リーダーは山崎 堅輔(中条RC)バストガバナーでした。

この度、会員増強・地区拡大委員会、戦略計画委員会、広報・公共イメージ向上委員会の三委員会をそのまま一つの委員会として活動する組織が編成されました。

＜会員増強に関して＞

組織立った戦略的な、革新的な方策が必要であります。それにより、地域社会とのより深く深い繋がりが出来るだけでなく、より多様な会員に魅力を感じて貰い、積極的参加を促すことが出来るとしています。

ロータリーの一番大切な財産は会員です。会員を増やすことだけが増強ではありません。堅固な基盤があれば、クラブに活気もたらされ、クラブの存

在感が高まり、地域社会でのロータリーの奉仕力が更に高まります。

ロータリーが時代に沿った存在であり続け、会員の期待に応え続けるには革新と変化を取り入れ、多様な会員を迎え入れて行く必要が有ります。

<戦略計画の立案に関して>

戦略計画の立案とは「こういうクラブになりたい」というビジョンを描き、その実現に向けて目標を立てるプロセスです。

戦略計画の土台となる、四つの主な優先事項と目的がRI理事会で承認されています。

- ① より大きなインパクトをもたらす。
- ② 参加者の基盤を広げる。
- ③ 参加者の積極的な関わりを促す。
- ④ 適応力を高める

各項目は抽象的な表現で、ちょっと分かり辛いのですが、これは地区内、各クラブの置かれた環境が夫々違うので、それに対応したものを考えなければならない、と理解しております。

山崎リーダーからこのような方針が述べられました。

2019-20年度 ロータリー財団委員 吉井直樹 会員

2019-20年度地区研修・協議会において、13:00～より第4セッション・ロータリー財団委員会が行われた。アドバイザーを佐々木パストガバナー、委員長には新保パストガバナーを迎え、新しい地区委員で進行した。

委員長挨拶の後、次第に乗っ取り順次説明発表された。また、最後にアドバイザーの講評をいただき、定時に終了した。

今回の財団の研修では、従来通りの内容に加え、財団や、ロータリーの経験が浅いメンバー向けにロータリーの成り立ちから、財団の設立、国際ロータリーとロータリー財団の関係まで、わかりやすくDVDなども使い、説明があった。地区財団委員会とかくクラブの連携をより密にとって使いやすい財団であるようにしていきたいとまとめた。

2019-20年度 社会奉仕委員長 五十嵐博宣 会員

こんにちは。次年度社会奉仕委員長を務めさせていただきます五十嵐です、よろしくお願ひいたします。去る5月11日に地区研修協議会に参加してまいりました、そのご報告をさせていただきます。

昨年も青少年奉仕委員長で出席のはずでしたが当クラブ担当地区協であり会場のお手伝いをしていたために参加できず今回がはじめての地区協参加となりました。午前中の全体会議を経て午後よりセッションごとに会議をおこない、担当委員長のお話を伺いました。

次年度社会奉仕委員長猪又氏より活動方針として

- 1 小さな勇気・小さな心・小さな実践・小さな足跡、地域社会の各特色をクラブに映し出すことに力を注ぎ、長期の計画、持続可能な無理のない奉仕、全体レベルでのリーダーシップの継続性を重視し、無駄の無い活動を続けるよう努力をお願いします。
- 2 各クラブの社会奉仕活動の成功実績、構想や情報を積極的に取り上げ、情報公開して、活力の参考にしてもらう。
- 3 各地域団体、職業団体(行政)リーダーと協力体制の構築。
地域奉仕活動として、社会的弱者(高齢者等)の支援。
- 4 将来、国の成長に重要な子ども達の教育の支援(道徳・論理観の欠如の対策)。それには「地区補助金(DDF)」の積極的な利用を誘引するため、ロータリー財団委員会と連携し円滑に活動できるよう支援していく。

との方針が示されました。

この方針に沿いながら次年度活動させていただきますので、よろしくお願ひいたします。

次週例会 6月5日 休会

次々週例会 6月12日 「クラブフォーラム」
若槻八十彦 会長エレクト

